

令和7年度 第1回太子町地域福祉計画策定委員会 会議録

日時	令和7年7月25日（金） 午前10時30分～午前11時30分
会場	太子町立生涯学習センター 3階 太子の森 視聴覚室
出席者	建石昌博、岡崎要、羽田妙子、松井育子、内田久美子、今川雅代、村井浩子、山之内ルミ、石谷淳二 （敬称略、順不同）
事務局	太子町健康福祉 木村厚江 太子町福祉介護課 辻本知也、川井美穂子 太子町社会福祉協議会 立石賀則、貝長誉之
コンサルタント	ジャパンインターナショナル総合研究所 谷内田好広
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 委員紹介【資料1】 4. 委員長、副委員長の選出【資料2】 5. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 太子町地域福祉計画・太子町地域福祉活動計画の策定概要について【資料3】 (2) アンケート調査について【資料4】 (3) 策定スケジュールについて【資料5】 (4) その他 6. 連絡事項 7. 閉会

1 〈開会〉

2 〈町長あいさつ〉

3 〈委員紹介〉

4 〈委員長・副委員長の選出〉

委員長に石谷委員、副委員長に羽田委員を選出

5 議題

（石谷委員長）

それでは、議題5に移ります。（1）「太子町地域福祉計画・太子町地域福祉活動計画の策定概要について」事務局から説明をお願いします。

〈資料説明〉

(石谷委員長)

ありがとうございます。

続きまして、議題（２）アンケート調査について、事務局からお願いします。

〈資料説明〉

(石谷委員長)

ありがとうございました。今の説明いただきました、アンケートについてご質問・ご意見等ございませんか。

(羽田副委員長)

太子町ではまだ少ないですが、外国の方がいらっしゃると思います。学校に行く年齢になればその方が外国の方だと分かるかもしれないですが、先に住んでいる大人の方の中で困っていることがあるような気がします。太子町はほかの他市と比べると少ないですが、少ないからこそ私たちに手助けできることがあると思います。例えば民生委員として関わっていけることがあると思います。民生委員の中でもそういう話し合いがまだなされておられません、アンケートの設問の言葉がちょっと難しいというところがありますので、孤立している方が相談する相手もなく、答えられないということが多くなりそうな気がします。外国で生活をする、言葉ができたり読めたりするだけで安心感がありますので、困ったときに手助けができればと思います。

(石谷委員長)

ありがとうございました。こうしていろいろ出していただいたご質問に、すぐに回答してもらうのは難しいですか。

(事務局)

今回のアンケート調査は18歳以上の方に無作為抽出で1000人に送付する予定ですが、送付先が外国人の方というケースも十分考えられます。そういうときに日本語が分からずに、答えたいが答えられない方がいれば、内容の説明をさせていただき対応を取れるのですが、現状ではそういう方を把握する方法がありません。あきらかに外国人の方だと分かるようなお名前があれば、分からないことがあれば一文を追記することが可能です。

(羽田委員)

地域ではある程度どこに住んでいるとか把握されていますか。

(事務局)

多いのは就労目的で来られていて、集合住宅に入っているケースが目立ちます。目的が短期間で就労目的ということであり、地域の方とつながりいうものをそもそも求めていないという方もいらっしゃいます。ただ、実際に生活されている方も数は少ないですがいらっしゃいますし、何らかのご意見をお持ちかもしれませんので、送付するときに配慮させてもらえればと思います。

(事務局：ジャパン総研)

過去の経験の話ですが、確かに今アンケート調査を作為でおこなうと、外国籍の方に何人かあたるということ把握していいです。昨年、ほかの市町で日本語学校のボランティアをされている方にヒアリングをおこなったことがありました。そこに通う外国籍の方もお話をさせていただきましたが、今日本に住んでいる方はだいたい就労目的で期間が最大でも5年くらいで、そこで困ったことがある場合は就労先の上司の方に相談されるケースが多いと伺っています。確実なことではないですが、今回アンケートが届いた場合には、もしかしたら就労先に相談が行くのではないかと考えております。頼る人がなくて、困っている方もいらっしゃるのではないかとこのところですが、今回のアンケート調査のQ22でも7番に外国人の家庭の方を入れていまして、地域の方がどれだけ外国人の方を把握しているかという傾向として捉えることもできるかと思えます。アンケート調査結果を生かしながら、今後の外国籍の方に対する対応等の検討はできるのではないかと考えております。

(石谷委員長)

就労目的の外国人の方がアンケートを受けたときに、分かるような内容を入れることは可能ですか。

(事務局：ジャパン総研)

まだそこに対しての事例があまりなくて、実際にいろいろな対策を取っている市町は多いのですが、難しい漢字にルビを打つとか、それくらいの対策にとどまっているのが現状です。東海圏の愛知県や岐阜のエリアだと、外国の方が多く住まれているのでアンケート調査票翻訳版を送付しているケースはありますが、莫大な費用がかかりますので、現状として対策を取れる部分は少ないと思えます。仮に入れるとすれば、最初のご記入についてお願いのところ、「もし回答に悩まれたら役場のほうにご相談ください」という一文を入れることは可能だと思います。

(石谷委員長)

ありがとうございます。その辺りは今後の課題ということで考えていただけたらと思います。

(事務局：立石)

おそらく携帯の翻訳アプリを外国人の方が入れていると思いますので、そういうことも可能かと思えます。

(石谷委員長)

ありがとうございます。そのほかないでしょうか。具体的なアンケート項目の内容について、大丈夫でしょうか。

(建石委員)

地域の特性的なこともあります。自治会の加入率が下がっていて、これが地域のつながりの希薄化の要因になっていることがあります。「自治会に加入しているか」、「加入していない場合はどういう理由で加入していないのか」、という項目を入れるのはどうでしょうか。太子町の加入率がどれくらいかは分かりませんが、今はどこの市町村でも問題になっているのでお願いしたいと思います。

(石谷委員長)

お願いできますか。

(事務局：ジャパン総研)

今いただいたご意見は大事なご意見で、自治会の加入率は非常に低下しており、私が令和5年度に関わった泉大津市のほうでも、自治会がもうすでに成り立たなくなりつつあるというお話を伺っています。それを受けて、市のほうで地域の参画の計画の中に、自治会加入の促進について自治会に加入しているかと、していない理由について聞く質問を設けている市町村もありますので、協議して追加するか検討したいと思います。

(石谷委員長)

ありがとうございました。ほかはよろしいでしょうか。なければ次にまいります。

議題(3)策定スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

〈資料説明〉

(石谷委員長)

ありがとうございました。特に質問はございませんでしょうか。各議題を審議していただき、本当にありがとうございました。会議の進行を事務局のほうにお返しします。

6 連絡事項

(事務局：川井)

スケジュールの説明でも申し上げましたが、次回の会議は10月上旬頃を予定しております。日程が決まり次第、皆様にご連絡を差し上げますので、よろしく願いいたします。

それではこれもちまして、第1回太子町地域福祉計画策定委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

以上